

難病患者等ホームヘルパー養成研修終了

難病患者等の多様化するニーズに対応し、適切なホームヘルプサービスの提供に必要な知識、技能を有するホームヘルパーの養成を目的として、2日間の研修会を実施しました

日 時：平成27年2月 3日（火）・2月 13日（金）13:30～16:50

場 所：サンシップとやま 701号室

対象者：介護福祉士、ホームヘルパー

参加者：25名（介護福祉士・ホームヘルパー）

研 修 内 容

1日目	2日目
13:30 開会 あいさつ	13:30 講義IV・実技
13:35 講義I 「富山県の難病対策」 健康課感染症疾病対策班 主査 笹島 厚美 氏	「難病患者の呼吸リハビリテーション」 講師 富山市民病院 リハビリテーション科 科長 滝田 正樹 氏
14:00 講義II 「難病に関する基礎知識～神経難病の理解～」 富山大学附属病院 神経内科 診療准教授 田口 芳治 氏	15:10 事例検討「在宅難病患者の支援の実際」 アドバイザー 富山県福祉カレッジ 教授 田中 雅子 氏
15:20 講義III 「在宅難病患者の心理と家族の理解」 ・患者の立場から 山崎 信代 氏 ・家族の立場から 織田 昌代 氏	16:30 修了証書 授与



受講者のアンケートより

- * 難病と聞いただけで不安感が増し困ったと思ったが、その病気を理解することによって、受け入れることが少しでもできると思った。
- * 当事者の方の話を聞いて、ヘルパーを必要とされているんだと感じた。これからも様々な研修で知識を増やしていきたい。
- * 他の事業所のヘルパーさんと交流でき、いろいろな意見が聞けてよかった。
- * 実習もあり、これからのヘルパー活動に役立てていきたい。
- * 家族のお話を聞き、心が痛んだ。私たちができることは何だろうと考えることができ、とても良い時間になりありがたかった。
- * まだ難病を持つ人と仕事上接したことはほとんどないが、今の仕事にも充分役立てる内容だった。
- * 短時間内での研修の理解は、厳しいように思う。質疑応答の時間が少し欲しかった。

